

令和3年度 橿原市昆虫館活動報告

橿原市昆虫館

Annual report for the fiscal year 2021 of Kashihara City Museum of Insect

Kashihara City Museum of Insect

令和3年度は昨年度に引き続きコロナウィルス感染症対策に伴い、各活動も例年に比してその開催数や、募集人数等を大幅に削減している。

展示活動

特別展

「昆虫の出る絵本展」

7月20日(火)～9月20日(月・祝)

期間入館者：19,613名

主担当：辻本

企画展

「『ムシ』の漢字展」 この「蟲」読めますか？

3月20日(土・祝)～7月11日(日)

期間入館者：10,242名(令和2年度2,639名、令和3年度7,603名)

(*令和3年5月1日～6月21日はコロナ感染症対策のため休館)

主担当：野川

「虫を分ける」

10月2日(土)～12月26日(日)

期間入館者：16,249名

主担当：池田

「あつまれ！だんごむし」

1月12日(水)～3月27日(日)

期間入館者：9,987名

主担当：野川

連携事業活動

展示

〒634-0024 奈良県橿原市南山町624番地
insect@city.kashihara.nara.jp

「田んぼの水族館 in 橿原市昆虫館 2021」

8月3日(火)～9月5日(日)

期間入館者：12,085名

・連携先：奈良県食と農の振興部農村振興課

教育支援活動

出前授業

耳成南小学校オンライン授業

10月5日(火) 生徒：104名

白橿北小学校出前講座

10月5日(火) 教員：42名

博物館実習

8月19日(木)～8月23日(月) 大学生：5名

調査活動

コロナウィルス感染症対策のため、当初予定していた、チョウ類などの生体展示種の系統維持を主目的とした沖縄県の八重山諸島での調査は実施できなかった。

飛鳥地域における昆虫相調査

「カーテン式ライトトラップを用いた走光性昆虫の調査」
実施日：4月12日、5月10日、6月10日、7月11日、
8月8日、9月10日、10月4日、11月3日(計8回)
調査地：橿原市南山町 橿原市昆虫館屋上

生物多様性飛鳥地域保全活動推進協議会調査

「ニッポンバラタナゴ保護増殖試験調査」

実施日：6月29日、7月20日、8月17日、9月30日、
10月11日、10月27日、11月19日、11月24日

調査地：榎原市今井町 環濠内の水域

共同調査者：北川 忠生（近畿大学准教授）、駒井 藍（近畿大学大学院）

「ため池の外来種駆除調査」

実施日：1月25日

調査地：牛ヶ池（高取町市尾）

印刷物制作活動

かしはらしこんちゅうかんニュース ダーウィン

「Darwin 2022年3月」

300部 発行

業績公表活動

書籍

池田大, 2021. かんさいのせみ. 43pp. NPO 法人こと
もとむしの会, 兵庫.

辻本始, 2021. チョウセンカマキリ.pp. 52-55. 全国
昆虫施設連絡協議会(著) 昆虫館はスゴイ! 昆虫館スタッ
フの内緒話, 224pp. repicbook, 埼玉.

辻本始, 2021. ヤマトマダラバツタ.pp. 100-103. 全国
昆虫施設連絡協議会(著). 昆虫館はスゴイ! 昆虫館スタッ
フの内緒話, 224pp. repicbook, 埼玉.

池田大, 2021. 虫好きの少年が昆虫館職員に!.pp.
202 - 205. 全国昆虫施設連絡協議会(著). 昆虫館は
スゴイ! 昆虫館スタッフの内緒話, 224pp. repicbook,
埼玉.

論文・報文

池田大, 2021. サトクダマキモドキの雌雄型と思わ
れる奇形個体の採集記録. きべりはむし 44 (1) : 103.

野川裕司・辻本始・池田大, 2021. ゴキブリイメージ
向上化計画. 昆虫園研究 (22) : 19-23.

佐藤れお・野川裕司・辻本始, 2021. 奈良県で初記録
となるミカドアゲハを採集. やどりが (270) : 33.

辻本始, 2021. イリオモテモリバツタのスネアカ
型・スネアオ型の遺伝様式の研究の紹介. ぱったりぎす
(164) : 71.

辻本始, 2021. ヤエヤマフキバツタの飼育に成功. ぱつ
たりぎす (164) : 72-73.

辻本始, 2021. ナギを食べるオンブバツタを見つけま
した. ぱったりぎす (164) : 73.

宮武頼夫・池田大, 2022. 唐招提寺にチッチゼミはま
だいるのか?. ならがしわ (223) : 4-5.

辻本始, 2022. 2地域のカマキリ2種における飼育
下でのリュウキュウアサギマダラに対する捕食率の比
較. 榎原市昆虫館研究報告 (1) : 1-3.

木村史明・池田大, 2022. 令和2年度 飛鳥地域にお
ける昆虫相調査. 榎原市昆虫館研究報告 (1) : 4-19.

池田大, 2022. 榎原市で相次いで発見されたヒゲコメ
ツキ雌雄型の記録. 榎原市昆虫館研究報告 (1) : 20.

野川裕司, 2022. 奈良県内における青いダンゴムシの
発見報告について. 榎原市昆虫館研究報告 (1) : 21-22.

木村史明, 2022. 飛鳥地域で見つかったムツスジアシ
ナガゾウムシ. 榎原市昆虫館研究報告 (1) : 23-27.

木村史明, 2022. 奈良県内で確認された蛾類の記録1
(カイコガ科, ヤママユガ科, ヒトリガ科, コブガ科). 榎
原市昆虫館研究報告 (1) : 28-31.

発表

野川裕司, 2022. コロナ渦における入館整理等の対策
について. 第32回全国昆虫施設連絡協議会(オンライ
ン口頭発表). 2022年11月12日.

資料収集保管活動

館員の資料収集

「飛鳥地域における昆虫相調査」

実施日: 4月12日、5月10日、6月10日、7月11日、
8月8日、9月10日、10月4日、11月3日(計8回)

担当者: 木村、池田

図書資料

刊行物(雑誌 359点、図書 63点)

寄贈資料受領

昆虫標本 1点 「ノコギリクワガタ(雌雄型)生体」
(石井久美氏: 令和3年7月23日)

寄贈物品受領

物品 3点 「サーモグラフィ非接触式温度検知器 2
台」、「空気循環式UVC紫外線ランプ2台」、「電源用コー
ドリール1台」

(川端遼佳氏: 令和4年1月14日)

生体育成管理活動

チョウ類育成管理

令和3年度月間放蝶数

種名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
アゲハチョウ科														
ジャコウアゲハ	5	7	33	59	37	28	71	73	68	103	51	51	586	48.83
ナミアゲハ	0	36	25	8	9	26	12	8	0	1	0	0	125	10.42
キアゲハ	0	0	0	2	2	0	1	1	0	0	0	0	6	0.50
シロオビアゲハ	175	128	136	183	168	152	113	106	51	86	142	165	1605	133.75
モンキアゲハ	0	0	0	1	0	0	0	7	0	0	0	0	8	0.67
クロアゲハ	0	0	1	0	9	6	5	7	5	0	0	1	34	2.83
ナガサキアゲハ	8	5	77	74	88	32	26	53	19	21	0	10	413	34.42
カラスアゲハ	0	8	30	0	109	1	90	0	0	3	9	4	254	21.17
ミヤマカラスアゲハ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0.17
ギフチョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	31	2.58
シロチョウ科														
ツマベニチョウ	6	40	2	22	27	1	28	3	26	0	18	22	195	16.25
モンシロチョウ	0	26	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	2.33
マダラチョウ科														
アサギマダラ	0	0	0	0	0	0	0	7	52	8	5	68	140	11.67
リュウキュウアサギマダラ	50	70	53	33	36	100	160	44	32	66	61	19	724	60.33
スジグロカバマダラ	47	7	7	2	17	39	16	1	3	18	73	52	282	23.50
オオゴマダラ	277	315	155	126	131	106	80	115	178	170	155	178	1986	165.50
ツمامラサキマダラ	47	54	73	22	80	39	51	40	23	35	77	135	676	56.33
タテハチョウ科														
ツマグロヒョウモン	0	0	97	7	4	0	0	0	0	0	0	0	108	9.00
カバタテハ	308	388	106	60	60	53	62	16	28	30	200	198	1509	125.75
オオムラサキ	0	0	812	0	0	0	0	0	0	0	0	0	812	67.67
ジャノメチョウ科														
クロノマチョウ	0	0	0	0	0	23	0	0	0	0	0	0	23	1.92
スズメガ科														
オオスカシバ	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	9	0.75
計	929	1086	1609	599	777	606	715	481	486	542	791	935	9556	796.33

※この他にツمامラサキマダラは放蝶温室内にも、多数発生している。

食草等育成管理

食草栽培生育状況	
◎食草栽培温室<<約 180 m ² >>	○：生育良好 △：生育普通 ×：生育不良
植 物 名	生 育 状 況
ホウライカガミ	○
リュウキュウガシワ	△
ツルモウリンカ	○
ギョボク	○
ヒマ	○
セイタカスズムシソウ	○
トウワタ	△
サツマイモ	△
リュウキュウウマノスズクサ	△
ヘンルーダ	△
◎N温室<<約 70 m ² >>	○：生育良好 △：生育普通 ×：生育不良
植 物 名	生 育 状 況
ホウライカガミ	×
リュウキュウガシワ	×
ツルモウリンカ	○
リュウキュウウマノスズクサ	△
ギョボク	○
ガジュマル	○
◎ガラス温室<<約 100 m ² >>	○：生育良好 △：生育普通 ×：生育不良
植 物 名	生 育 状 況
柑橘類 (ブタン・レモン)	×
ギョボク	○
◎パイプハウス	○：生育良好 △：生育普通 ×：生育不良
植 物 名	生 育 状 況
ホウライカガミ	×

リュウキュウガシワ	×
ツルモウリンカ	○
◎周辺の畑・その他	○：生育良好 △：生育普通 ×：生育不良
植 物 名	生 育 状 況
柑橘類（温州ミカンほか5種）	○
キハダ	○
カラスザンショウ	○
サンショウ	△
エノキ	○
イヌビワ	○
カンアオイ	○
ギョボク	○
カラタチ	○
ウマノスズクサ	△

蝶の幼虫が食べる食草の栽培は、主にオオゴマダラの食草ホウライカガミやリュウキュウアサギマダラの食草ツルモウリンカ、スジグロカバマダラの食草リュウキュウガシワを食草栽培温室やパイプハウス、N温室の3ヵ所で栽培を行なった。

また、アゲハチョウ科の食草の柑橘類やカラスザンショウ・キハダは主に周辺の畑で栽培し、温室では鉢植えとしてヘンルーダの栽培も行なった。

他には、カバタテハの食草ヒマやツマベニチョウの食草ギョボクも食草栽培温室やN温室のほか、暖かい季節には野外でも栽培を行なった。

食草の生育状況は、ツルモウリンカやギョボク、ヒマ、柑橘類は比較的順調である。リュウキュウガシワ、リュウキュウウマノスズクサなどはキョウチクトウアブラムシやコナカイガラムシなどの害虫により十分な量を確保するのが困難な時があった。特に冬は保温のために温室を閉め切りがちになり蒸れが生じるためか、コナカイガラムシなど害虫の発生が多く不調に陥りがちであった。

N温室では、ギョボクやガジュマルが順調な一方、リュウキュウウマノスズクサなどはコナカイガラムシの虫害などにより生育が良いとはいえない時があった。ツルモウリンカは比較的順調である。

害虫に対しては、適宜手による除去や水流、刈り込みによる駆除を実施するとともに、発生が多い時には分解性の早いピレトリン（除虫菊の成分）を使った農薬を使用した。

他にもつる性の植物に対し高さのある手を使うことにより上への伸長を促し、葉を増やすなどの工夫も行った。

蜜源植物生育状況

・ランタナ(クマツヅラ科)

放蝶温室に飛んでいるほとんどの蝶が吸蜜に来ている花で、鉢物とプランター栽培を中心とし五分咲きの段階で放蝶温室に搬入した。開花が終わったものは短く剪定し、ガラス温室や野外で養生し、随時挿し木にて増殖、株更新を行っている。生育は良好であった。

・ペンタス(アカネ科)

株数についてはランタナに次いで多く、鉢物栽培を中心に随時挿し木にて増殖させて株の更新を行った。生育は良好であった。

・ヒヨドリバナ(キク科)

ヒヨドリバナは、マダラチョウに必要なPAという成分の摂取植物として有効で、リュウキュウアサギマダラ、ツمامラサキマダラ等が好む植物である。鉢物の株を挿し木で更新してまとまった数を維持できている。

・フジバカマ(原種)(キク科)

秋にアサギマダラを呼ぶために野外で栽培しているものを一部、株分けし開花時期である秋に放蝶温室に導入した。ヒヨドリバナに近縁で同様にマダラチョウが非常にこの花を好むが、季節ものであるため導入は秋に限られた。

・ユーパトリウム(キク科)

こちらもヒヨドリバナに近縁の花で、ヒヨドリバナの少ない冬場に花が咲くため、冬場のPA摂取植物として有効である。放蝶温室に地植えにしたものが大きな株になってきている。

・サンタンカ(アカネ科)

主に鉢物で栽培し花期が長く花が楽しめ、ツマベニチョウやアゲハチョウ科のシロオビアゲハやクロアゲハ等が好んで吸蜜するが、新芽にコナカイガラムシの発生がよく見られ、手でつぶすなど抑制に努めたものの、多くは利用できなかった。

・ハイビスカス(アオイ科)

ハイビスカスは、アゲハ類やツマベニチョウが好むほか、鑑賞用として展示効果もあり、放蝶温室内に地植えするとともに、鉢物も置いている。生育は良好であった。

・ヘリオトロップ(ムラサキ科)

紫色の花を咲かせ、開花期間も長く、いろいろな蝶の蜜源として適している。挿し木により株を増殖させ、生育は良好であった。

・チリメンナガボソウ(クマツヅラ科)

主に地植えで栽培しているが、その花にはリュウキュウアサギマダラなどがよく吸蜜に来る植物である。生育は良好であった。

・カラコエ(ベンケイソウ科)

鉢物のみ栽培し、短日植物のため花は秋頃から冬にかけて咲く花である。冬場の害虫発生により少し不調であった。

・トウワタ(ガガイモ科)

鉢物のみ栽培しており、花が咲けば蜜源となり、葉はカバマダラやツمامラサキマダラの幼虫の食草となることから、トウワタの葉にツمامラサキマダラが産卵し、成長した幼虫が時折、お客様が見つけた幼虫の展示となっている。ただし花を好んで食べるため、花を長く維持するのが難しかった。また、キョウチクトウアブラムシが発生しやすいので、手で潰したりピレトリンの殺虫剤を使うなどしたりして抑制に努めたが、株が古くなってきてあまり多く導入できなかったため、更新の必要があると考えている。

蜜源植物は1年を通じて、開花する様に植え替えや刈り込みにより開花の時期をずらして放蝶温室内に搬入している。その他、蜜源に適した花としてブツレアやニンジンボク、タイワンレンギョウ(デュランタ)などの鉢を少数導入している。また近年、冬場の花が少なくなる時期には毛糸のボンボリを使ってスポーツ飲料を与える方法を導入している。

生体展示室関連育成管理

令和3年度 生態展示 一覧														
	R3	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4	1月	2月	3月
水槽 ①	水の中に棲む虫たち (カメムシの仲間)													
	・タガメ ・タイコウチ ・ミズカマキリ													
水槽 ② (カメラ組込)	水の中に棲む虫たち (コウチュウの仲間)													
	・ゲンゴロウ ・クロゲンゴロウ ・ハイイロゲンゴロウ ・ガムシ													
陸槽 ④ (カメラ組込)	樹液に集まる昆虫													
	・ヘラクレスオオカブト ・アクティオンゾウカブト ・カブトムシ ・ニジイロクワガタ ・ババアキンイロクワガタ ・スマトラヒラタクワガタ ・コキリクガタ ・ミヤマクガタ ・コクワガタ ・アハシクガタ													
陸槽 ⑤	昆虫館はベビーラッシュ 4/25-7/18						カマキリ							
	・ハナカマキリ (幼虫) ・メダマカレハカマキリ (幼虫)						・ハナカマキリ ・メダマカレハカマキリ							
陸槽 ⑥	・タイワンクワガタ (幼虫)						・タイワンクワガタ							
ミニ企画														
陸槽 ⑦	昆虫館はベビーラッシュ 4/25-7/18				カブトムシ 7/19-9/20			生息域外保全事業			ざんねんな虫たち 11/23-3/31			
	・昆虫館周辺でみられるいもむしけむし (全期間で22種)				・カブトムシ (成虫、幼虫、蛹)			・ヒメタイコウチ			・7ダ ナナフシ・コバ ナナフシ・クロハダ ナナフシ・クワガタ など			
暗室	絶滅のおそれのある昆虫の生息域外保全事業													
	・ヒメタイコウチ							秋の鳴く虫 9/21-11/23			・昆虫館周辺でみられる鳴く虫 ・ヒメタイコウチ			
新館展示室 ① (中)	ナナフシのへや													
	・ヤエヤマトガリナナフシ													
新館展示室 ② (南)	ステキなゴキブリ天国													
	・メンガタゴキブリ ・アルゼンチンモリゴキブリ ・トルキスタンゴキブリ ・マダガスカルゴキブリ ・ジャイアントウッドローチ ・ヒメマルゴキブリ ・ヨツボシゴキブリ													
新館展示室 ③ (北)	八重山のバタたち													
	・イロモシババタ ・黒島産バタ				・クガニフキバタ				・イロモシババタ ・黒島産バタ					
・コブナナフシ ・アオミオカタニシ ・ファイヤーサラマンダー														
情報コーナー	トビックス展示													
	・キアチャク		・オムツキ		・オオハシカバブシ ・キンロヒラス カバブシ				・オオコマダラカバブシ		・クビキリカバブシ ・キンロヒラス カバブシ			
ロビー	エントランス展示													
	・スズムシ													

令和3年度 生態展示等での昆虫等の飼育状況																													
グループ	種名(和名)	備考	R3.3末	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	その他													
コウチュウ目(カブト・クワガタ類)			以下、左：♂(オス) 右：♀(メス) の個体数 (多：50頭以上)																										
カブトムシ類	カブトムシ		9	5	14	15	14	12	14	18	22	26	20	21	9	16	5	9	3	5	4	10	10	13	11	17	7		
	ココブト		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
クワガタムシ類	オオクワガタ		4	6	3	4	3	5	3	5	3	5	3	5	2	4	2	4	3	3	2	3	1	2	3	2	3	2	
	ヒラタクワガタ		1	0	0	0	2	2	2	2	2	2	2	1	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	
	ヒラタクワガタ	サキシマヒラタクワガタ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ミヤマクワガタ		0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ノコギリクワガタ		0	0	0	0	0	0	0	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	アカアシクワガタ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クワガタ		5	0	4	0	4	0	3	0	3	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
水生昆虫			以下、左：成虫 右：幼虫の個体数 (多：50頭以上)																										
カメムシ目	タガメ		25	0	21	0	17	多	17	42		24	0	23	0	23	0	21	0	21	0	21	0	20	0	20	0		
	コオイムシ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	タイコウチ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	7	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ミズカマキリ		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	1	0	1	0	1	0	0	0	2	0
コウチュウ目	ゲンゴロウ		19	0	16	0	15	多	20	10	27	0	26	0	25	0	25	0	24	0	24	0	22	0	21	0	18	0	
	クロゲンゴロウ		9	0	7	0	7	0	7	0	7	0	7	0	7	0	7	0	6	0	6	0	6	0	6	0	6	0	6
	ガムシ		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
陸上昆虫			以下、左：成虫 右：幼虫の個体数 (多：50頭以上)																										
ゴキブリ目	オオゴキブリ		多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	
	ヤエヤマオオゴキブリ	八重山諸島	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	
	ヒメマルゴキブリ	八重山諸島	0	2	0	多	2	多	4	8	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ナナフシ目	ヤエヤマトリナナフシ	八重山諸島	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	
	ツダナナフシ	八重山諸島	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	
バッタ目	コブナナフシ		0	2	8	18	10	16	14	5	13	5	11	22	7	多	11	多	13	30	9	多	13	20	14	30	10	多	
	タイワンツツムシ	八重山諸島	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	
	ムニンエンマコオロギ	小笠原諸島	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	
	スズムシ		多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	
カメムシ目	オオキンカメムシ		30	0	多	0	23	0	13	多	多	多	多	多	多	0	多	0	10	30	40	0	15	0	10	0	0		
	ナナホシキンカメムシ	八重山諸島	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
コウチュウ目	オオシマドボタル	八重山諸島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	オオゾウムシ		2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	クワカサウムシ	八重山諸島	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	
	ヤエヤマサンリ	八重山諸島	2	7	0	8	0	8	5	2	5	1	5	0	5	0	4	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	
	キノボリトカゲ	先島亜種	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	
外国産			以下、左：♂(オス) 右：♀(メス) の個体数 (多：50頭以上)																										
コウチュウ目	ヘラクレスオオカブト	ヘラクレス亜種	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ヘラクレスオオカブト	リッキー亜種	0	0	2	2	2	1	2	1	2	1	3	2	3	2	3	2	2	1	1	1	2	2	2	2	2	2	
	アクティオンゾウカブト		1	1	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	2	0	1	0	
	エレファスゾウカブト		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ヒラタクワガタ	スマトラヒラタクワガタ	1	0	2	1	2	1	2	1	1	1	1	1	2	1	2	1	7	1	7	0	5	1	5	1	5	1	
	ギラファノコギリクワガタ	亜種不明	3	5	3	4	2	4	2	4	2	4	2	8	1	8	1	8	1	7	2	7	2	6	3	5	3	5	
	バブアキンイロクワガタ		9	12	5	4	5	5	8	3	7	3	4	0	2	3	1	6	0	6	0	5	0	5	0	5	0	3	
	ニジロクワガタ		2	4	2	2	6	3	8	3	8	4	10	11	10	13	10	13	9	13	8	12	8	9	4	11	2	11	
	ラッキーテナガカナブン		0	0	0	0	0	0	3	4	4	4	2	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	キンイロヒラズカナブン		0	0	0	0	0	0	0	2	1	4	4	4	4	3	3	3	1	2	0	1	0	11	8	29	25	0	
	クビワオオツノカナブン		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	2	5	1	5	1	4	0	
	シロヘリオオツノカナブン		0	0	0	0	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
外国産			以下、左：成虫 右：幼虫の個体数 (多：50頭以上)																										
ゴキブリ目	トルキスタンゴキブリ	レッドローチ	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	
	アルゼンチンモリゴキブリ	デュビア	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	
カマキリ目	メダカレハカマキリ		31	13	25	多	18	多	17	多	17	多	6	多	11	多	12	多	24	8	28	0	28	20	20	多	0	多	
	ハナカマキリ		15	多	18	多	8	多	0	多	7	多	15	多	20	8	18	1	12	8	10	11	9	30	10	多	0	多	
カメムシ目	シロモンオオサンガメ		多	多	30	多	20	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	
	チリアンコモンタランチュラ		2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	
グループ	種名(和名)	備考	R3.3末	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	その他													

生息域外保全活動

【ヒメタイコウチ】

令和元年7月1日から奈良県より奈良県版レッドデータブックで絶滅寸前種に指定されているヒメタイコウチの生息域外保全事業を受託、令和3年度も依頼に基づき実施した。

1. 事業依頼元

奈良県 水循環・森林・景観環境部 景観・自然環境課

2. 事業期間

令和3年4月1日～令和4年3月31日

3. 事業対象種

種名：ヒメタイコウチ

学名：Nepa hoffmanni

分類：カメムシ目タイコウチ科

奈良県版RLランク：絶滅寸前種

4. 事業目的

ヒメタイコウチは、奈良県内では五條市、大淀町の数カ所でのみ生息が確認されており、個体数が少なく、生息地が点在している状況であるため、

奈良県希少野生動植物保護に関する条例に基づきヒメタイコウチ保護管理事業の一環として、緊急的に種の保存を図ることを目的に、橿原市昆虫館と連携し生息域外保全事業を実施する。

本業務は、飼育下個体群の危険を分散し、継続して飼育下個体群を維持することにより種の保存を図るとともに、将来において野生復帰が必要な場合に備えて、飼育繁殖技術の確立、飼育下個体群の生態等科学的知見の集積を目的とする。

5. 事業経過

令和3年4月16日に「五條のヒメタイコウチを守る会」より、飼育個体10個体（5♂5♀）譲渡。本館生態展示室にて繁殖試験を開始する

令和3年5月～6月に幼虫が計45個体孵化。個別飼育で発育調査を行い、飼育方法の確立を目指した。

昆虫館で育った新成虫の寿命及び繁殖行動といたったその後の経過を調査した。また10月～12月に新成虫が産卵を行ったため、孵化した幼虫を集団で飼育し発育調査を行った。

他施設との生体交換

昆虫施設等との生体交換		
発送		
年月日	施設名等	内容
令和3年8月11日	石垣市平和協働推進課	オオゴマダラ成虫 20
9月1日	伊丹市昆虫館	ハナカマキリ幼虫 3
		メダマカレハカマキリ 9
令和4年1月27日	磐田市竜洋昆虫自然観察公園	ハナカマキリ幼虫 8
3月5日	井頭公園花ちょう遊館	カバタテハ卵 20
受領		
令和3年10月30日	磐田市竜洋昆虫自然観察公園	オカダンゴムシレッド 15 オカダンゴムシマジックポーション 15 セグロコシビロダンゴムシの一種（静岡産） 15 フチゾリネッタイコシビロダンゴムシ 15 パークチョンネッタイコシビロダンゴムシ 15
12月17日	箕面公園昆虫館	アルビノオカダンゴダンゴムシ 15
12月20日	長崎バイオパーク	パンダキング 20 ゲストロイダンゴムシ 20 クロアチアハナダカダンゴムシ 20 ユニオンネッタイコシビロダンゴムシ 20 ボルネオコブコシビロダンゴムシ 10 ゼブラダンゴムシ 20 ハナダカダンゴムシ 20

施設の概要・管理運営

施設概要

- 施設名 橿原市昆虫館
- 所在地 奈良県橿原市南山町 624 番地(香久山公園内)
- 構造・規模 管理棟・展示棟 — 鉄筋コンクリート造地下一階地上二階
 温室棟 — 鉄骨造平屋建一部地下
 新館棟 — 鉄筋コンクリート地上三階建
 渡り廊下 — 鉄骨鉄筋コンクリート造
- 敷地面積 52,156 m²
- 建築面積 2,721.61 m²

《内 訳》

本館	渡り廊下	新館棟	多目的広場	蜜源温室	食草温室	合計
1,971.3	40.42	237.96	150.18	141.75	180.00	2,721.61

(単位:m²)

- 延床面積 3,466.47 m²

《内 訳》

	管理棟	展示棟	温室棟	新館棟	渡り廊下	合計
地下1階	184.43		213.92			398.35
1階	384.61	833.59	694.09	237.96		2,150.25
2階	285.96	287.24		61.35	45.36	679.91
3階				237.96		237.96
合計	855.00	1,120.83	908.01	537.27	45.36	3,466.47

(単位:m²)

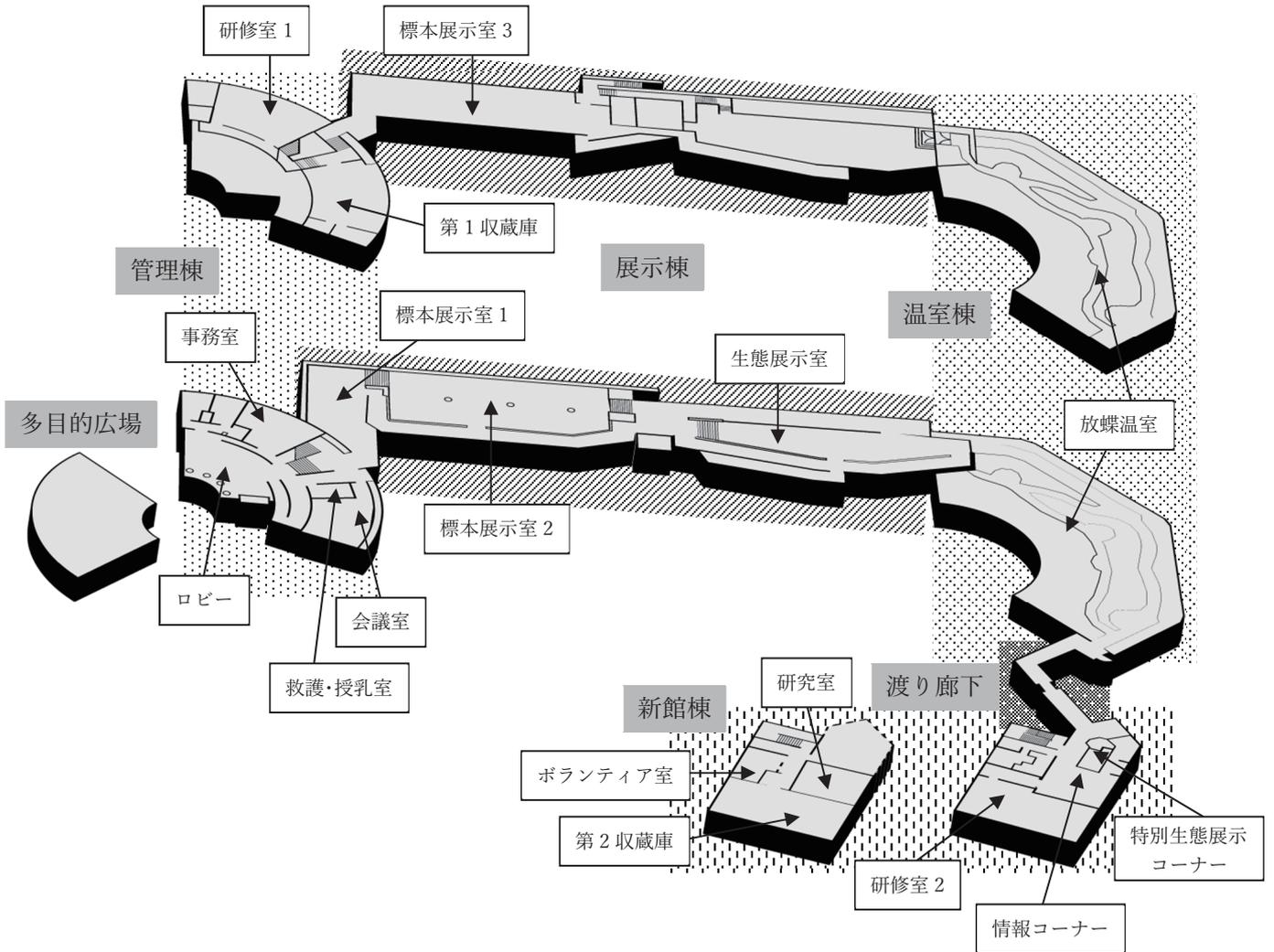
【各室面積表】

	室名	地下	1階	2階	3階	合計
管理棟	ロビー		127.63			127.63
	事務室		64.38			64.38
	会議室		66.44			66.44
	救護・授乳室		13.13			13.13
	研修室1			83.88		83.88
	第一收藏庫			81.72		81.72
	機械室	120.45		65.29		185.74
	その他	63.98	113.03	55.07		232.08
	合計	184.43	384.61	285.96		855.00
展示棟	標本展示室・1		120.16			120.16
	標本展示室・2		275.16			275.16
	標本展示室・3			221.04		221.04
	生態展示室		163.81			163.81
	メンテ室		51.78			51.78
	その他		222.68	66.20		288.88
	合計		833.59	287.24		1,120.83
温室棟	放蝶温室		496.99			496.99
	食草温室		197.10			197.10
	飼育準備室	113.61				113.61
	その他	100.31				100.31
	合計	213.92	694.09			908.01

新館棟	研修室 2				79.56	79.56
	準備室				13.88	13.88
	特別生態展示コーナー				26.73	26.73
	情報コーナー				25.94	25.94
	研究室		37.51			37.51
	第二収蔵庫		84.00	61.35		145.35
	前室		7.15			7.15
	ボランティア室		18.51			18.51
	倉庫 1		11.04			11.04
	倉庫 2		7.61			7.61
	ピロティ		55.60			55.60
	その他		16.54		91.85	108.39
合計		237.96	61.35	237.96	537.27	
付帯施設	食草温室		180.00			180.00
	蜜源温室		141.75			141.75
	多目的広場		145.23			145.23
	合計		466.98			466.98

(単位:m²)

見取り図



石垣島圃場

・圃場の概要

場所	沖縄県石垣市字宮良 1090 番地	
土地面積	2,337 m ²	
施設関係	管理棟 (鉄筋コンクリート造平屋建)	80.09 m ²
	食草栽培用カンレイシャハウス (間口 12m × 奥行 60m)	720 m ²
	蝶の飼育用ゲージ (間口 4m × 奥行 4.5m)	18 m ²

・食草栽培用カンレイシャハウス内に植え付けている食草と蝶名

食 草	蝶
ホウライカガミ	オオゴマダラ
リュウキュウガシワ	スジグロカバマダラ
ツルモウリンカ	リュウキュウアサギマダラ
ギョボク	ツマベニチョウ・台湾シロチョウ
ウマノスズクサ類	ジャコウアゲハ・ベニモンアゲハ
セイトカスズムシソウ	コノハチョウ・タテハモドキ

・カンレイシャ外に植え付けている食草と蝶を集めるために植えている吸蜜植物など

食 草	ガジュマル・ギョボク・柑橘類・ハネセンナ・ハブソウ オオイワガネ・ホウライカガミ・ツルモウリンカ・エノキ ヒマ・リュウキュウガシワ・トウワタ・サツマイモ 等
吸蜜植物	ハイビスカス・ランタナ・ペントス・ブーゲンビレア ツンベルギアエレクタ・サンタンカ・台湾レンギョウ 等

組 織

(令和3年4月1日現在)

橿原市魅力創造部 文化・スポーツ局 文化振興課 昆虫館

職員名簿

館 長 浅田 善規
課長補佐 松村 忠志 (学芸員)
副統括 (専門官) 木村 史明 (学芸員)
統括調整員 西村 有加
係 長 辻本 始 (学芸員)
主 査 野川 裕司
技術員 池田 大 (学芸員)

橿原市昆虫館協議会

令和3年度橿原市昆虫館協議会委員名簿		
氏名	役職	備考
宮武 頼夫	元大阪市立自然史博物館館長	学識経験者
服部 保	兵庫県立大学名誉教授	学識経験者
吉村 昭信	奈良県病虫害防除所所長	関係行政機関
国本 佳範	元日本応用動物昆虫学会評議員	学識経験者
伊藤 ふくお	昆虫生態写真家・ならむしの会会長	学識経験者
森田 千景	橿原市地域家庭教育推進協議会会長	家庭教育の向上に資する活動を行う者
森井 晴美	橿原市南山町自治会長	地域代表者
前田 善彦	橿原市小学校校長会代表 (橿原市立香久山小学校長)	学校教育及び社会教育の関係者

(敬称略)

入館者数・入館料収入

令和3年度橿原市昆虫館利用状況

入館者数

59,317 人

内訳	個人	団体	障害者	介護者	天ノ香美山南 協働会	スルッと KANSAI	ユネスコ 割引	昆虫館友の会	飛鳥・万葉 お楽しみ/ お散歩 クーポン	合計	
有料	42,823 人	4,312 人	946 人	733 人	0 人	0 人	0 人	0 人	15 人	48,829 人	
内訳	大人	26,828 人	5 人	434 人	694 人	0 人	0 人	0 人	0 人	10 人	27,971 人
	学生	450 人	1 人	39 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	490 人
	小人	15,545 人	4,306 人	473 人	39 人	0 人	0 人	0 人	0 人	5 人	20,368 人
無料										10,488 人	
内訳	引率者等										888 人
	無料者										200 人
	団体3歳児										8,984 人
	土曜無料者										416 人

開館日数 269 日

一日平均入館者数 220 人

一日最高入館者数 令和3年8月12日 787 人

一日最低入館者数 令和3年4月16日 8 人

*新型コロナウイルス感染症予防対策のため令和3年5月1日(土)～6月20日(日)まで臨時休館。

令和3年度 月別 橿原市昆虫館利用状況集計表

月	入 館	延 入 館	売上額 (円)	延売上額 (円)
	人員 (人)	人 員 (人)		
4	3,654	3,654	1,008,550	1,008,550
5	—	—	—	—
6	1,530	5,184	417,250	1,425,800
7	7,654	12,838	2,289,610	3,715,410
8	11,779	24,617	3,464,750	7,180,160
9	5,874	30,491	1,711,250	8,891,410
10	7,524	38,015	1,711,270	10,602,680

11	6,269	44,284	1,508,810	12,111,490
12	2,620	46,904	672,550	12,784,040
1	3,238	50,142	956,350	13,740,390
2	3,647	53,789	1,079,770	14,820,160
3	5,528	59,317	1,588,010	16,408,170
合計	59,317	59,317	16,408,170	16,408,170

条例等

○橿原市昆虫館条例

平成元年6月21日条例第21号

改正

平成9年3月26日条例第3号

平成9年12月24日条例第25号

平成13年3月27日条例第9号

平成15年9月30日条例第17号

平成17年6月30日条例第20号

平成21年12月25日条例第32号

平成24年3月28日条例第6号

平成25年12月26日条例第26号

令和元年6月28日条例第13号

令和2年12月25日条例第40号

令和3年12月24日条例第31号

(設置)

第1条 橿原市は、昆虫をはじめとする動植物に関する自然史資料の収集、保管（育成を含む。）、展示を行うことにより市民の教養文化の向上に寄与するとともに、合わせてこれらの資料に関する調査研究を行うため、昆虫館を設置する。

(名称及び位置)

第2条 昆虫館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
橿原市昆虫館	橿原市南山町624番地

(事業)

第3条 昆虫館において行う事業は、次のとおりとする。

- (1) 実物、標本、模型、文献、図書、図表、写真、フィルム等（以下「昆虫館資料」という。）の収集、保管、展示及び閲覧
- (2) 飼育、繁殖及び栽培に関する技術的研究及び生態展示
- (3) 展覧会、講習会、実習会、研究集会等の開催及び指導
- (4) 昆虫館資料及び自然史に関する調査研究並びにその結果の公開
- (5) 昆虫館資料の貸出
- (6) 他の昆虫館、学校、学会その他の関係機関との連絡及び協力
- (7) その他昆虫館設置の目的を達するために必要な事業
(入館の制限等)

第4条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、入館を拒否し、又は退館させることができる。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- (2) 他人に迷惑をかけ、又は迷惑をかけるおそれがあるとき。
- (3) 昆虫館資料、施設又は設備を損傷させるおそれがあるとき。
- (4) 温室内の植物を採取し、又は損傷したとき。
- (5) 昆虫館内の動物を捕獲し、又は殺傷したとき。
- (6) 管理上必要な指示に従わないとき。
- (7) その他支障があると認めるとき。

(観覧料)

第5条 昆虫館の展示場に入館しようとする者(以下「入館者」という。)は、別表に掲げる観覧料を納めなければならない。

2 市長は、入館者が次の各号のいずれかに該当するときは、前項の観覧料の全部又は一部を免除することができる。

(1) 身体障害者手帳又は療育手帳の交付を受けた者及びその介護を行う者

(2) その他市長が特別の理由があると認める者

3 既納の観覧料は、還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(協議会)

第6条 昆虫館に榎原市昆虫館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員(以下「委員」という。)の定数は、10人以内とする。

3 委員は、学識経験者、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、関係行政機関の職員並びに地域の代表者の中から市長がこれを任命する。

4 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 第1項から前項までに定めるもののほか、協議会に関し必要な事項は、市長が別に定める。

(委任)

第7条 この条例の施行について必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行し、榎原市昆虫館の供用開始の日から適用する。

附 則(平成9年条例第3号)

この条例は、平成9年4月1日から施行する。

附 則(平成9年条例第25号)

1 この条例は、平成10年4月1日から施行する。

2 この条例の施行の際、現にこの条例による改正前の榎原市使用料条例、榎原市福祉センター条例、榎原市昆虫館設置及び管理に関する条例、榎原市斎場設置及び管理に関する条例、榎原市公園条例、榎原市立体育館設置及び管理に関する条例、榎原市万葉の丘スポーツ広場条例、榎原市まちなみ交

流センター設置及び管理に関する条例又はかしはら万葉ホール条例の規定により使用の承認又は許可を受けている者の当該使用に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則(平成13年条例第9号)

1 この条例は、平成13年7月1日から施行する。

2 この条例の施行の際、現にこの条例による改正前の榎原市公園条例又は榎原市昆虫館設置及び管理に関する条例の規定により使用の許可を受けている者の当該使用に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則(平成15年条例第17号抄)

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成17年条例第20号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成21年条例第32号)

この条例は、平成22年4月1日から施行する。

附 則(平成24年榎原市条例第6号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成25年条例第26号抄)

(施行期日)

第1条 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

(経過措置)

第2条 次条及び附則第4条に定めるものを除き、この条例による改正後の各条例の規定は、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)以後に行う資産の譲渡等(消費税法(昭和63年法律第108号)第2条第1項第8号に規定する資産の譲渡等をいう。以下同じ。)について適用し、施行日以前に行った資産の譲渡等については、なお従前の例による。

附 則(令和元年6月28日条例第13号)

(施行期日)

第1条 この条例は、令和元年10月1日から施行する。

ただし、附則第3条の規定は公布の日から施行する。

(経過措置)

第2条 この条例の施行の際現にこの条例の規定による改正前の各条例(以下「旧条例」という。)の規定により使用の承認を受けている者の当該使用に係る使用料(入館料、管理料、土石採取料等を含む。)又は旧条例の規定により申請、申込み等をしている者の当該行為に係る手数料については、なお従

前の例による。

第3条 この条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後の使用に係る利用料金の額の定めは、施行日前においても、この条例による改正後の各条例の規定による使用料の額を超えない範囲内において、行うことができる。

附 則（令和2年12月25日条例第40号）

- 1 この条例は、令和3年4月1日から施行する。ただし、第3条、第4条（かしはら万葉ホール条例第16条第2項第1号の改正規定に限る。）、第6条、第15条、第17条、第18条（櫃原市新沢千塚公園拠点施設条例第8条第1号の改正規定に限る。）及び附則第3項の規定は、公布の日から施行する。
- 2 この条例の施行の日（以下「施行日」という。）において、現にこの条例（前項ただし書に規定する各規定を除く。）による改正前の各条例（以下「旧条例」という。）の規定により使用の承認を受けている者の当該使用に係る使用料又は旧条例の規定により申請、申込み等をしている者の当該行為に係る手数料については、なお従前の例による。
- 3 施行日以後の使用に係る利用料金の額の定めは、施行日前においても、この条例による改正後の各条例の規定による使用料の額を超えない範囲内において、行うことができる。

附 則（令和3年12月24日条例第31号抄）

（施行期日）

第1条 この条例は、令和4年4月1日から施行する。

（後略）

（経過措置）

第2条 この条例の施行前に、この条例による改正前の各条例の規定によりなされた行為又は手続は、この条例による改正後の各条例の相当する規定によりなされた行為又は手続とみなす。

別表（第5条関係）

区分	観覧料（1人1回につき）	
	個人	団体
大人	520円	左欄に掲げる額の10パーセントを減じた額とする。ただし、100人以上の団体の場合は、左欄に掲げる額の30パーセントを減じた額とする。ただし、これらの額に10円未満の端数がある場合については、その端数金額を切り捨てた額とする。
学生	410円	
小人	100円	

備考

- 1 学生とは、高等学校、大学及びこれらに準ずるもの生徒及び学生をいう。
- 2 小人とは、幼稚園、小学校、中学校及びこれらに準ずるものの園児、児童及び生徒等をいう。
- 3 団体とは、30人以上で責任者が引率している場合をいう。

昆虫館関連団体 榎原市昆虫館友の会

■会 長 前田 一郎

令和3年度行事報告

日程	行事名	内容	場所
4月17日(土)	スタッフミーティング	春の虫観察会打合せ	昆虫館
4月25日(日)	●春の虫観察会	春の虫観察 ※新型コロナウイルス対応で開催中止	大和民俗公園
6月5日(土)	●オオムラサキ観察会	バタフライガーデンで飼育するオオムラサキの観察	昆虫館
6月5日(土)	スタッフミーティング	夏の虫観察会打合せ	昆虫館
7月10日(土)	スタッフミーティング	夏の虫観察会打合せ	昆虫館
7月18日(日)	●夏の虫観察会	川辺の生き物観察会 ※新型コロナウイルス対応で開催中止	神野山自然公園
8月29日(日)	●移動昆虫調査会	イチモンジセセリ、アサギマダラ、アキアカネなどの移動昆虫調査会 【合同調査会】 ※新型コロナウイルス対応で開催中止	大和葛城山
9月18日(土)	スタッフミーティング	★秋の虫観察会打合せなど	昆虫館
9月26日(日)	●秋の虫観察会	秋の虫観察会、夜の森で虫探し	甘樫の丘
12月11日(土)	スタッフミーティング	冬の虫観察会打合せ、来年行事の打合せ	昆虫館
12月19日(日)	●冬の虫観察会	冬の虫観察	榎原神宮
令和4年 1月15日(土)	スタッフミーティング	来年行事、総会など打ち合わせ	昆虫館
2月5日(土)	(評議員会)	総会打合せ、来年度行事計画作成	昆虫館
2月26日(土)	スタッフミーティング	総会打合せ、来年度行事計画作成	昆虫館
3月6日(日)	●2021年度総会&講演会	※新型コロナウイルス対応で開催中止	昆虫館
3月19日(土)	友の会サロン	★入会案内、総会資料、行事予定、会員証発行、春の虫観察会打合せ	昆虫館

昆虫館関連団体 虫いっばいの里山づくり隊

■会 長 宮武 頼夫

1. 虫いっばいの里山作り隊会則

(名称及び事務局)

第 1 条 会の名称は虫いっばいの里山づくり隊とし、事務局を檜原市昆虫館（以下「昆虫館」という）内に置く。

(目的)

第 2 条 本会は昆虫館周辺の檜原市が所有する公園および丘陵地において、虫いっばいの里山を目指し、里山環境の整備を行い、自然や生き物を保護・保全または再生し、地域の子ども達や住人が安全かつ安心して自然に親しむことのできる場所を作することを目的とする。

(活動内容)

第 3 条 本会は昆虫館等との連携により次の活動を行う。

(1) 昆虫をはじめ、多様な生物が生息できる里山環境整備。

(2) 昆虫や自然に親しみ、会員相互の交流、親睦を深めるための自然環境教育等の普及活動。

(3) 昆虫館来館者に対して昆虫への理解を促進するための館内案内及び昆虫館主催行事の補助活動。

(会員)

第 4 条 本会は第 2 条の主旨に賛同するボランティアにて構成する。

(役員)

第 5 条 本会に代表を 1 名置き、任期は 1 年とする。ただし再任を妨げない。

(運営及び会計)

第 6 条 本会の運営は会員が自主的に行う。

(1) 本会の経費は寄付金その他の収入をあてる。ただし、収入がない場合は檜原市の助成を受けるものとする。

(2) 会計年度は 4 月 1 日に始まり、翌年の 3 月末日に終わる。

(その他)

第 7 条 この規則に定めるもののほか必要な事項はその都度定める。

附則 この会則は 2005 年 7 月 1 日から施行する。

2011 年 4 月 1 日一部改正

2. 活動状況

年月日	活 動 内 容
4 月 1 日	蝶のルートセンサス
4 月 14 日	観察路の整備、下草刈り・花壇の整備
4 月 25 日	観察路の整備
5 月 4 日	蝶のルートセンサス
6 月 1 日	蝶のルートセンサス
7 月 25 日	観察路の整備、下草刈り
8 月 6 日	蝶のルートセンサス
9 月 1 日	蝶のルートセンサス
9 月 8 日	観察路の下草刈り・花壇の草刈り
9 月 26 日	樹木板作成
10 月 9 日	蝶のルートセンサス
10 月 13 日	観察路の整備、下草刈り
10 月 24 日	観察路の下草刈り・樹名板の設置
11 月 2 日	蝶のルートセンサス
11 月 10 日	樹木板作成・観察路の整備
11 月 28 日	樹木板設置、ほだ木・樹名板の材料伐採
12 月 8 日	ミニ門松づくりの準備・花壇の整備
12 月 26 日	ミニ門松、玄関の門松作り
令和 4 年 1 月 12 日	玄関の門松片付け・観察路の整備
1 月 23 日	ヤマユリの下草刈り・シイタケの植え付け・竹籬の準備
2 月 9 日	竹籬作り（館内飾り用）・観察路の整備・竹ぼうきづくり準備
3 月 11 日	蝶のルートセンサス

・その他 適宜、花壇整備を行った